

独自のシステムを構築し  
課題をチャンスに変える



自社保税倉庫内にて輸入通関の許可、未許可を瞬時に識別している様子



小倉運送は、昭和25(1950)年の設立以降、鉄道コンテナ輸送事業、運送事業、港湾運送事業、倉庫事業を手掛けてきた老舗物流企業だ

越境EC課題

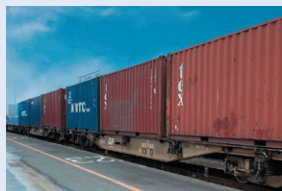
小倉運送はこう解決する!

解決策 1 Sea & Rail

海上輸送と鉄道輸送を組み合わせることで九州から遠距離にある関東エリアまでスピーディかつ安定的に輸送。

解決策 2 ワンストップ配送

港に到着した貨物を通関手続き→仕分け→配送業者引渡しまでその日のうちに対応。



Interview

増井敏一氏(左)、中村義春氏(右)、大迫功和氏(中) 越境ECプロジェクトを推進するメンバー。長年培ってきた経験と、モーダルシフトという先進的な取り組みを融合させ、顧客のバックアップを目指す。



世界的に越境EC貨物の市場拡大が加速する中、物流業界は人手不足やコスト高騰、複雑な通関手続きの効率化といった「物流の壁」に直面している。この課題を打破し、日本の新たなゲートウェイとして期待されているのが小倉運送だ。

同社が掲げる戦略の柱は、北九州の地理的優位性を最大限に活かした「海上コンテナ輸送による越境EC貨物のBtoC展開」だ。EC市場が盛んな韓国や中国に極めて近いという立地を武器に、長年の経験で培った物流構築力と、法規制に対応した大量データ高速処理システムを融合。これにより、エンドユーザーが求める「安価かつ迅速」な配送ニーズに応える体制を整え、サービス開始まで間近に迫っているという。また、越境EC貨物は現在、関西国際空港などの一部で取り扱いがあるのみ。そのEC貨物を北九州空港へ誘致するプロジェクトも推進中だ。国内貨物が減少する中で、北九州に「第一号」の荷物を呼び込み、地域経済の活性化を図る狙いがある。これらの挑戦を支えるのが、北九州、福岡市2つの貨物専用駅にある同社の営業拠点窓口とした「鉄道貨物輸送」と越境EC貨物のワンストップ配送を可能にする一連の仕組み。「鉄道貨物輸送」や「フェリー輸送」を利用した「モーダルシフト」は、長時間労働抑制が評価され23年に「福岡県ベストプラクティス企業」にも選出された。

現在、同社は専門人材の投入やシステムの高度化を進め、事業の完全実現に向けた最終段階にある。海・陸・空の結節点である北九州から、物流の未来を創る。

TOPICS!

韓国コスメの輸送など  
高まるEC需要にも対応

国境を超えてECモール(越境EC)が普及している昨今。手軽に海外から商品を購入できる一方、越境ECの増加により航空輸送が逼迫し物流にかかる時間などが問題に。それら国際物流のリスクをチャンスに変換する、同社のモーダルシフトに期待が高まっている。



国際物流の常識を  
打破する新サービス

[DATA]

北九州、福岡で展開する  
物流の老舗



小倉運送株式会社  
☎ 093-474-0510  
国 北九州小倉南区朽網  
3914-68



物流に変革を。小倉運送が挑む  
「越境EC」と「モーダルシフト」の融合